

環境動態を表現できる数理モデルの構築とその活用に関する研究



000
1110

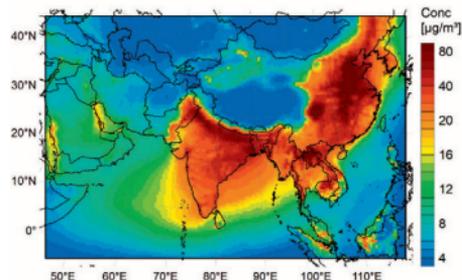
キーワード 気象、大気質、温熱環境、空気質、水質



近藤 明 KONDO Akira

環境エネルギー工学専攻 教授
環境システム学講座 共生環境評価領域

ここがポイント!【研究内容】



平均的PM_{2.5}濃度の空間分布

地球・地域・都市・室内等の様々な空間スケールで、人間活動によって排出される環境負荷物質の環境媒体中の動態を表現できる数理モデルを構築しています。具体的には、1. アジアから関西圏までの様々な空間スケールの気象・大気質に関する研究、2. 都市街区の微気象・局所大気汚染に関する研究、3. 室内の温熱環境・空気質に関する研究、4. 琵琶湖・淀川流域圏の水文・水質に関する研究、5. POPs や有害金属の環境 multimedia モデルに関する研究を実施しています。さらに、これらのモデルをアジア諸都市の環境管理に应用する研究も実施しています。

応用分野 環境アセスメント、気候変動

論文・解説等

- [1] Nguyen G.T.H., Shimadera H., Uranishi K., Matsuo T., Kondo A., *Atmospheric Environment*, Vol. 219, 117054, 2019
- [2] Ikenoue T., Shimadera H., Kondo A., *Journal of Environmental Radioactivity*, Vol. 225, 106452, 2020
- [3] Nattaporn Pinthong, Sarawat Thepanondh, Kondo A., *Aerosol and Air Quality Research*, Vol. 22, 210064, 2022

連絡先 URL

<http://www.see.eng.osaka-u.ac.jp/seeea/seeea/top.htm>

